

ティータイム TEA TIME

ティータイム

日本赤十字社医療センター

30

平成19年 初夏号

発行責任者/相良 秀夫 ○企画/JRMC ○無償報酬・監修/AMADEUS INC. Midori Nishiura ○平成19年6月1日発行

Tea Time Talk with Midori ●Photographer Satoshi Teradate



「“生活の中の美”をテーマとした
収蔵品の数々を、多くの方々に
ご覧いただきたいですね。」



西浦 今日、オフィシャルな
感じで、お話をさせていただきます。
まずは、過日のサントリー
美術館オープン、おめでとう
ございます。

佐治 オープニングにお越し
いただき、ありがとうございます。
ます。

西浦 美術館のシンボルマー
クの「み」は、みどりの「み」に
していただき、嬉しいなんて
バカなことを申し上げたのに、
「そうそう」って、お話を合わせ
てくださって。全国の「み」の
字がつくお名前の方々も身近
に感じられるでしょうね。

佐治 あれは、室町時代の浄
瑠璃のところに、いちばん最
初の字「み」というのがあって。
美しい西浦みどりさんの「美」
が基の(笑)。

西浦 まあ、ありがとうございます。
ます。お褒めの言葉、しっかり掲
載させていただきます(笑)。

佐治 その「美しい」をだんだ
ん崩して変体仮名にしたもの
を、そのままとりましてね。少

しデザイン化したのかな。

西浦 そうでしたの。とにかく、
お父様の、長年かけたコレ
クションの素晴らしさに、改め
て感謝いたしました。

佐治 そうですね、45年を越
えましたかね。丁度、パレスサ
イドビルで始めて。3000
点ぐらい、日本のものだけで
はありませんけど、外国のも
も買ってたね。3000点の中
には国宝級もあれば、そうで
ないものもありますけれど、
長年にわたって一生懸命コレ
クションして。

西浦 海外のコレクターも何人
か見てきましたけど、お父様
の審美眼には敬服いたします。

佐治 親父も喜ぶでしょう
ね。サントリーというのは、消
費者の方々の生活に身近な商
品をお届けしている会社です
から、「生活の中の美」という
のは非常にいいテーマだと思
うんですよ。既に歴史のある
美術館はいっぱいありました
からね。それぞれがそれぞれの
のテーマでやっておられるの
で。

西浦 マイ フェイヴァリット
(最高に気に入っている)な場
所になりました。外国の要人
が来日するときなどのために、
ご案内して喜ばれる場所を常
に探していますので、こちらが
できて大助かりです。

佐治 それはよかったです。こない
だ小泉さん(前総理)が来られ

対談連載

16

~ Guest ~

佐治信忠

サントリー株式会社 取締役会長兼社長
サントリー美術館 館長



西浦みどりのアフタヌーンティー

さじのみだ
1946年兵庫県生まれ。68年、慶應義塾大学経済学部卒業後、渡米。71年、カリフォルニア大学ロサンゼルス校経営大学院を卒業。同年、ソト商事に入社。74年、サントリーに入社。82年、取締役就任。その後、常務、専務、副社長を経て、2011年3月、代表取締役社長に就任。13年3月からは、代表取締役会長兼務する。サントリー独自のCSR(企業の社会的責任)活動として、老人ホームや保育園の経営、サントリー本社の運営をはじめ、環境保護活動の推進や、次世代育成支援のキッズドリフプロジェクトの展開などに力を注いでいる。サントリーの創業者、島井信治郎氏の孫で、2代目社長の佐治信忠三氏の次女。現在、(社)総合デザイン協会理事長、社公共公益機構理事長など務める。

てね、国宝の金時絵化粧箱をご覧になって、「北条政子のあれは、レイ・ヴィトンだ」って(笑)。

西浦 あ柄は、確かにそうですね。



国宝「浮線綾螺鈿時絵手箱」(鎌倉時代/13世紀)

味のない方がご覧になっても面白いと思うんですよ。西浦さんが仰るように、親父のテーマ、最初の発想がよかったんでしょうね。

西浦 お父様には、たいへん助けられた貴重な思い出がありますよ。以前、お話ししたかと思いますが、ザルツブルクの共通の友人宅のお庭でね。ヴァルデアードフ伯爵夫妻、ご存じでしょうか？

佐治 僕は、知りませんが…。

西浦 お父様には、今でも本当に感謝しています。長くなりますので、別の機会に。

佐治 ああ、そう(笑)。

西浦 ごめんなさい、ちよっと脱線してしまいましたので、美

術館のお話に戻りますが、お茶室も大好きな場所です。精神統一に最適な場所なのではと。

佐治 お茶室は、赤坂にあったものをそのまま持っていたんですけれどね。あれは多分、親父が随分お金をかけたんでしょう(笑)。

西浦 先見の明がありがとうございます。やはりお父様は偉大だというお話にたどり着いてしまいましたね(笑)。

佐治 ははは、確かに(笑)。裏千家の千宗室さんとも友人でありましたからね。

西浦 御社の文化的貢献といえば、たくさんありますけれど、身近なところではサントリーホールです。

佐治 昨年、サントリーホール20周年のアニバーサリーコンサートにもいらしていただきましたね。

西浦 はい、もう、およばれた数を数えますと、小学生のときから伺っていたのかしらと(笑)。

佐治 いやあ(笑)。あれは、人気のあるコンサートなんです。

西浦 お客様も正装でいらつしやるので、華やかで楽しいですけど、奥様がいつもステキで、佐治さんと並

ぶとベストカップル賞の受賞者みたいだと思つて。

佐治 いや、そうですか。ありがとうございます。

西浦 ヨーロッパには、御社のような素晴らしいプライベートカンパニーがたくさんあります。日本では、数が少ないし、上場していないと一人前じゃないと思われている節があつて…。

佐治 そうなんです。すぐに「なぜ上場しないんですか？」だとか、「社会的責任じゃないませんか？」といったことを言われるんだけど…。

西浦 大きなお世話で(笑)。

佐治 企業経営において、企業価値を上げていくという努力は同じことだし、株を公開して広く資金を世の中から調達するということが、株式会社の株式公開の一番の目的です。株を持つてもらふという目的

目的ではないし。

西浦 そのとおりです。このところ、すぐに上場したがつたり、させたがったりという風潮がありましたけど、首を傾げたく

なる場合も目につきますね。そもそも、上場していないから、自由なワ

ンマン経営だと



か、そんな時代はとうに終わつていってます。ケースバイケースではありますけど、御社の場合は上場しないほうがよいと…。ここで言うところからお叱りを受けるかもしれないが…。

佐治 いやいや、そんなことはないと思いますよ。事業資金を調達する必要があるれば、何もする必要はない。私の祖父とか親父は、どういうふうに考えて株を公開しなかったのか分かりませんが(笑)。

今こういう時代を迎えて、しかもよかつたなということは思います。

西浦 まったくです。本当にエグセレントカンパニーだから生き残れるわけで、上場、未上場には関係ありません。むしろ、責任は重大だし、窮屈だし。きちんとやっていると皆さんふわふわしていませんもの。

佐治 そうですね。よく不祥事が起こると、大抵新聞は「プライベートカンパニーの不祥事で…」と書くけど、パブリックカンパニーのほうも不祥事はいっぱいあつたわけで、まったく面白い論調だと思つてますよ(笑)。

西浦 固定観念と古い発想からくる先入観は、恐いですね。それでも、飄々と突き進んでいらつしやるのですから、誰にでもできることではないです。ところ

で、グループ会社だけで確か百何十ありましたかしら？

佐治 全部合わせると180ぐらいありますかね、大きいのも小さいのも入れると。

西浦 それらを全部優良に保つて引張っていくというのは、大変なことですね。

佐治 海外を合わせれば2万人以上の従業員がいますからね。ということは、ご家族まで入れれば、6万人ぐらいの人たちの生活を考えていかなければならないから。

西浦 それだけの責任を担つていらして、今日もよくお時間を割いてくださいましたわ。感謝しています。

佐治 そんなことはないです。よく社員とマネージャー研修なんかで話をしていて、「社長の役割はなんですか？」って。「そりゃ、会社をつぶさんことや」って(笑)。

西浦 ほんとに。それがいちばん大切なこと(笑)。では、健康管理などについてもお聞きしないと。さぞや忙殺されていらしてお疲れでしょうから。

佐治 ひとつは、睡眠。すぐ寝れるということ。

西浦 何時間ぐらいおとりになりますか？

佐治 7時間ぐらい寝ますかね。

西浦 えーっ、それはたつぷり

で、グループ会社だけで確か百何十ありましたかしら？

佐治 全部合わせると180ぐらいありますかね、大きいのも小さいのも入れると。

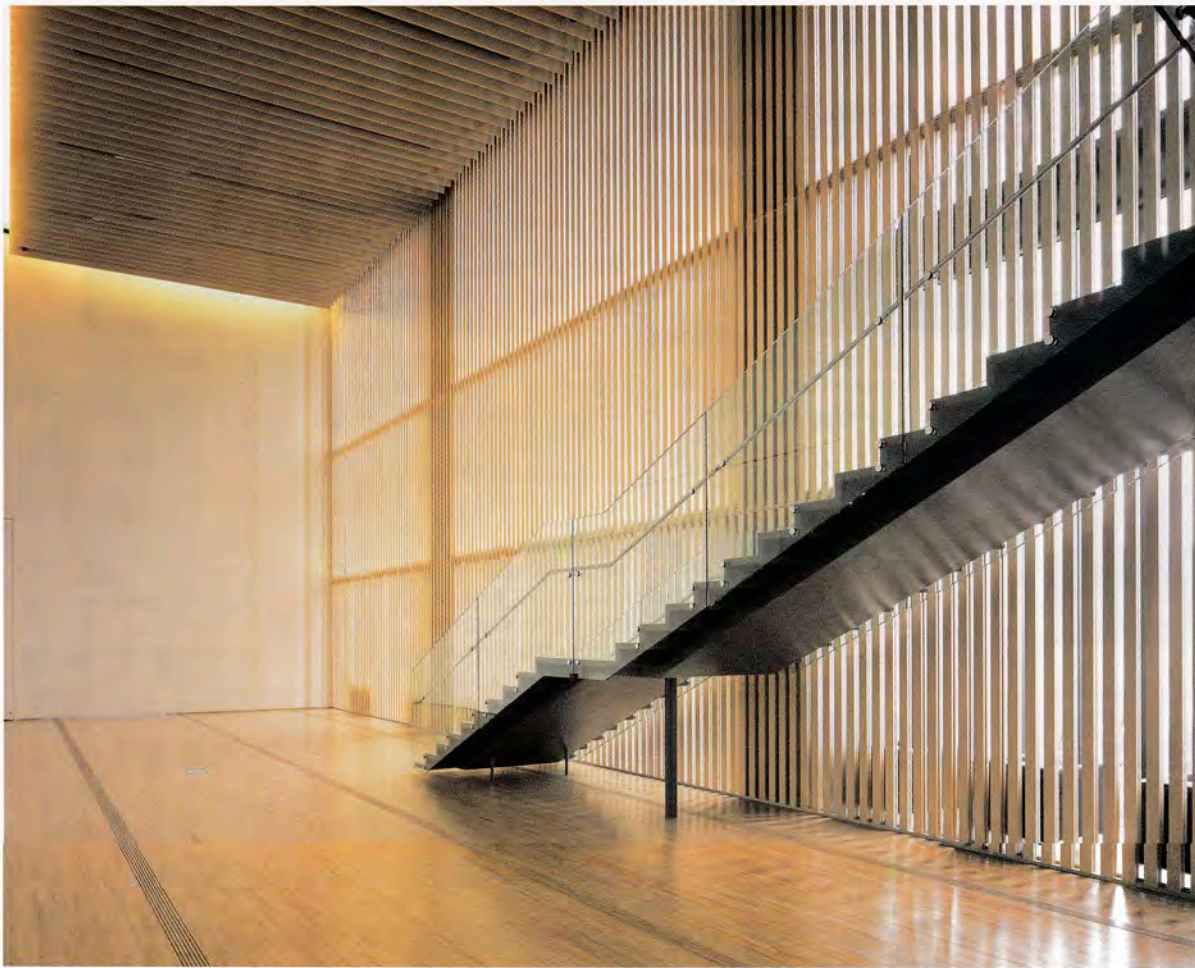
西浦 それらを全部優良に保つて引張っていくというのは、大変なことですね。

佐治 海外を合わせれば2万人以上の従業員がいますからね。ということは、ご家族まで入れれば、6万人ぐらいの人たちの生活を考えていかなければならないから。

西浦 それだけの責任を担つていらして、今日もよくお時間を割いてくださいましたわ。感謝しています。



サントリー美術館内のお茶室「玄鳥庵」(撮影・木奥恵三)



建築家・隈研吾氏が、「伝統と現代の融合」をテーマに設計。展示室の無双格子など、随所に「和のモダン」が盛り込まれています。(撮影・木奥恵三)

だわ！羨ましい。私、4時間ぐらいなの、恥ずかしい。
佐治 僕は、よく寝ますね。最近、早起きで朝の4時ごろから起きて、という社長が多

いけど、僕はそういうのダメだね。話したら、もうこの会社つづけるなど、言われるくらい(笑)の生活をしているわけ(笑)。
西浦 でも、スポーツはなさい

ますでしょ？
佐治 スポーツは水泳を週に2回、1000メートルくらい泳ぐのと、あとは家でできる体操、運動ですね。思い切り汗

をかく。15分から20分くらいでできますからね。泳ぎは1時間くらい、歩きが20分くらいかな。
西浦 ご自宅のプールで？
佐治 いや、歩いて3分のところにスポーツクラブがありますから。1000メートルくらい泳ぐと、気持ちがいいですよ。それと、お酒を飲むことかな。

西浦 私は、日々のお酒、会食のつかけを、御社の「黒烏龍茶」と「胡麻麦茶」に頼っています(笑)。
佐治 あれはいいでしょう？お酒も今は、営業の諸君がお得様を廻ってくれているので、どうしても飲みに行かなければならないということもありませんしね。
西浦 海外出張も多くていらつしやいますね。
佐治 昔は、よくヨーロッパも行ったんだけど、今は中国にたまに行きますね。事業が安定したので、アメリカもあまり行かなくなりました。綾瀬の食品工場の竣工式は、向こうが来てくれましたし。

西浦 スコッチの本場、スコットランドでも、御社製品は賞をおとりになっています。スコットランドの方の伝統に対する頑固さを考えると、これは、ものすごい達成です。
佐治 そうしたところで「響」や「山崎」が世界に認められるのは、本当に嬉しいことです。
西浦 それから、ワインでは、フ

ランス・ボルドー地方のシャトー・ラグランジュも、高く評価していますのよ。
佐治 これがもう、20年を越えて。買ったときは、すごく荒れてましてね。それで、葡萄の木もだいぶ若い木を植えて、20年たった今では自分で言うのもなんですが、この5年くらいで非常に厚みが出た、いい葡萄ができるようになりましたね。
西浦 今や、トップブランド、素晴らしいドメーヌになりました。私、各地方のトップクリティカーのワインの消費に、日々多大な貢献をしていますから(笑)。それから、私ピール党ではないのに最近「ザ・ブレミアム・モルツ」にはまってます(笑)。なんか味に深みがあつて美味しい！
佐治 そりゃ、よかつた。ワインのほうはね、日本でのワインの消費はなかなか上がらなくてね。ポリフェノールの大ブームが、10年くらい前にありましたね。赤ワインは、健康にいいと、飲んでいただいた。それから下がりがつばなしでね。
西浦 おまかせください。プロモーションをして、販売促進のお手伝いをしますから(笑)。
佐治 お願いします。シャンパン、スパークリングワインは、やつと去年ぐらいいかな、ブームがきて。
西浦 こちらも、イギリスから帰国した当時、まだ日本で

シャンパーニュといえば、結婚式の乾杯用に甘いスパークリングか、大晦日のナイトクラブで飲まれるのがせいぜいだった時代に、グラス売りを広めたの。私が育ったイギリスでは、朝食にシャンパーニュでしたからね。今でこそ、朝シャンなんて言っても誰も驚きませんけど、あのころは宇宙人扱いされました(笑)。
佐治 いいよ、やつとそういう時代が来ましたね。私たちも「シャンパンは高いから、スパークリングワインで愉しむ」と仰る方々のように、結婚式とか特別な機会だけでなく、日頃、日常にという時代が来たから。これからはまた、ワインの時代が来るのを期待しているんですけどね。
西浦 大いに期待してくださいませ。シャンパーニュの、華麗なる展開と発展のために、協力いたしますわ。
佐治 嬉しい話ですね。
西浦 今日は、楽しいお話を、ありがたう存じました。

にしうらみどり
 国立大学法人 山口大学客員教授
 国際コンサルタント・評論家
 (オピニオンリーダー)。
 東京生まれ、英国育ち。インベスター・リレーションズを主とする国際金融と都市開発(商業・住宅等)のコンサルタント会社社長として契約企業・団体多数。テレビのニュース情報番組では、ユーモアたっぷりの辛口コメントで、中高生からシルバー世代まで幅広い支持を得ている。特に若い女性には、講演・著書を通じてエレガントなエグゼクティブのお手本として人気。政府委員、日本赤十字社医療センター外部評価委員も務めている。5冊目の著書「大人の品格」(PHP研究所)が好評発売中。
<http://www.nishuuramidori.com>